

令和2年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理計画策定モデル事業 (長野県・福井県)

本モデル事業の特徴

- ・災害廃棄物等の発生量推計（地震（津波）と水害）及び廃棄物処理施設の処理可能量を提供し計画案の作成に注力
- ・全5回のワーキング会議と講義に対応した演習及び宿題により、各モデル自治体の災害廃棄物処理計画（案）を作成
- ・県災害廃棄物処理計画や既存ワークシートと整合を図りつつ、最新の知見を反映した災害廃棄物処理計画の基礎となる資料を提供
- ・令和元年度東日本台風による災害廃棄物処理における対応について、長野県の被災自治体に対し、ヒアリング及び意見交換を実施し、モデル自治体処理計画案へ反映

WG会議	講義内容	意見交換内容	宿題
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・業務概要、スケジュール ・ワークシートの説明 【想定災害、組織体制、連絡先の整理】 	<ul style="list-style-type: none"> ・初動対応（ワークショップ形式） 	<ul style="list-style-type: none"> ・想定する災害 ・災害時の組織体制 ・地域特性・連絡先一覧
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・補足説明 ・ワークシートの説明 【住民への周知・広報、一般廃棄処理施設等、仮置場（選定のポイント）】 ・演習 【避難所ごみ、生活ごみ、し尿、仮設トイレ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題の発表 ・宿題の内容に関する意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・処理施設の概要 ・基礎的数値の算出①（避難所ごみ、生活ごみ、し尿、仮設トイレ） ・仮置場候補地
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・補足説明 ・ワークシートの説明 【災害廃棄物処理の全体像、処理スケジュール、収集運搬、環境対策、損壊家屋の撤去、選別・処理・再資源化、処理困難物、思い出の品】 ・演習 【災害廃棄物発生量、仮置場必要面積】 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題の発表 ・宿題の内容に関する意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的数値の算出②（解体廃棄物、片付けごみ、仮置場必要面積） ・仮置場必要面積
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・補足説明 ・ワークシートの説明 【広域的な処理、地域特性、災害廃棄物処理実行計画、処理事業費等、計画の見直し】 ・演習 【処理可能量、処理フロー】 	<ul style="list-style-type: none"> ・処理計画案の報告 ・処理計画案に関する意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的数値の算出③（処理可能量、処理フロー） ・全体見直し
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・補足説明 ・講演会【被災経験のある自治体より】 	<ul style="list-style-type: none"> ・処理計画案の報告 ・処理計画案に関する意見交換 	

令和2年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理計画策定モデル事業 (長野県・福井県)

長野県

1.モデル自治体

- 県内4市8町9村。
⇒県庁グループ：上田市、諏訪市、大田市、千曲市、南牧村、下諏訪町、辰野町、小布施町、信濃町、飯綱町、栄村
南信州グループ：松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、売木村、喬木村、豊丘村、大鹿村
オブザーバー（被災自治体）：長野市、佐久市、中野市

2.モデル事業の取組方針

- 県内市町村の処理計画策定の促進を図る。過年度業務で整備したワークシートを基本とし、不足項目を追加。
- 地域や処理体制に対応したグループ化により、処理の特徴を踏まえた意見交換を実施。マンパワーが不足していると判断される場合、プッシュ型で支援。

3.モデル事業の実施内容

①災害廃棄物等の発生量推計

- 発生量推計に係る環境省及び県と意見交換を実施し、被害想定と推計方法を整理。
- モデル自治体ごとに最大規模の被害想定となる地震と水害による災害廃棄物等の発生量を推計。

②ワーキング会議の開催と演習

- 講義による知識の習得及び演習、宿題形式での復習により、災害廃棄物処理計画を策定するための一連の作業を支援。
- 事前アンケートを実施し、ボトルネックとなる点を抽出したことや、各ワーキング会議でのモデル自治体間で意見交換を行うことで、共通の問題点を解決。

③被災時の対応事例を反映し実効性を向上

- 令和元年度東日本台風による災害廃棄物処理における対応について、長野県の被災自治体へヒアリングした結果について、モデル自治体の処理計画案へ反映。

福井県

1.モデル自治体

- 県内1市2町。
⇒越前市、池田町、南越前町
オブザーバー：南越清掃組合

2.モデル事業の取組方針

- 県内市町の処理計画策定の促進を図る。
- 地域や処理体制に対応したグループ化により、処理の特徴を踏まえた意見交換を実施。
- 福井県災害廃棄物処理マニュアルを基本とした福井県版ワークシートを整備。

3.モデル事業の実施内容

①災害廃棄物等の発生量推計

- 発生量推計に係る環境省及び県と意見交換を実施し、被害想定と推計方法を整理。
- モデル自治体ごとに最大規模の被害想定となる地震（津波）と水害による災害廃棄物等の発生量を推計。

②ワーキング会議の開催と演習

- 講義による知識の習得及び演習、宿題形式での復習により、災害廃棄物処理計画を策定するための一連の作業を支援。
- 事前アンケートを実施し、ボトルネックとなる点を抽出したことや、各ワーキング会議でのモデル自治体間で意見交換を行うことで、共通の問題点を解決。
- 対象自治体で構成される組合にオブザーバー参加していただいたことで、より実状を踏まえた検討を実施。

③災害廃棄物処理計画（案）の作成

- ワーキング会議と演習及び宿題の成果に基づき、モデル自治体ごとに災害廃棄物等処理計画（案）を作成。
- 令和元年度東日本台風による災害廃棄物処理における対応について、長野県の被災自治体へヒアリングした結果について、モデル自治体の処理計画案へ反映。